



KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2018~  
2019年度  
テーマ

国際ロータリー 「インスピレーションになろう」 R.I.会長 バリー・ラシン

地区方針 「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 高山泰四郎

熊本グリーンRC 「手をつなごう、手をのばそう」

熊本グリーンRC会長 本田悟士



インスピレーションになろう

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：本田悟士 ■幹事：福島和見 ■会報担当：栗山義則  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2019年5月27日】

第1344回

2018-2019年度 第36回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

ロータリーソング「奉仕の理想」

来訪者紹介 (本田 悟士 会長)

米山奨学生 シャルマ・ゴパル 君

友情の握手

会長スピーチ (本田 悟士 会長)

みなさま、こんばんは。

熊本市内では先々週末は中学校、先週末は小学校で運動会が開催されたところが多く、皆様の中にもお子さんやお孫さんの応援に向かれた方がいらっしゃるのではないのでしょうか。私も、昨日は長男二男の小学校の運動会があり、その準備、応援、片付けに追われた一日となりました。この運動会については、今朝の熊日でも時短開催の小学校(日吉小学校)の紹介や熱中症関連で取り上げられていましたが、実際、午前中に終わらせるというほど極端なものでもなくとも、時短開催のため技巧走や演技等を全学年では実施しないであるとか、PTA競技を取りやめる学校が増えていきます。子供達の活躍を喜び、成長に驚き、一生懸命な姿に感動する大切な行事ですが、週五日制の影響もあっての生徒・教員の練習・準備時間不足や、事故時には直ぐに主催者の安全配

配慮義務など(国家)賠償が問題(本当に残念なことですが、組み体操事故など裁判例に事欠きません・・・)となるご時世ですので、運動会プログラムの簡素化、時短開催の流れは止められないところでしょう。

歴史的にみると、日本の運動会については、もともとはヨーロッパに起源があるものの、参加者が一定のプログラムにつき全体としてまとまりながら競技や演技を行う型式の体育的行事は、国威発揚や富国強兵、健康増進を目的として明治末から普及したのものとして「近代日本独特の体育行事」とされており、実際の日本の近代化において、運動会が学校を中心とする地域社会の連帯を再確認し、強固にする役割(従来のムラ社会における「ハレ」の場に代わり、地域社会の連帯感強化の役割)を果たしてきたことはよく知られたところです。

私自身、例えば、過疎化や少子化に伴う小中学校の統廃合に関する行政訴訟に関わることが幾度かありましたが、その中で住民側からは、小中学校の存在や同世代の子らを前提とする行事が地域コミュニティの核となっていたことについての切実な訴えを繰り返し聞くこととなったことをあらためて思い出しながら、運動会行事の変質・変容について思いを致した次第です。

とりとめなく雑ばくな感慨をお話ししただけとなりましたが、本日の会長の時間は以上です。本日もどうぞよろしくお願い致します。

### 卓話予定

- 6/3 「熊本グリーンローターアクトクラブ活動報告」★アクトとの合同例会
- 6/10 「次年度第2回クラブ協議会」
- 6/17 会長・会長エレクト・副会長・幹事・S.A.A.、会計及び6常任委員長退任挨拶
- 6/24 「夫婦会」(歳祝い会を兼ねる)★18:30~(於:フランス料亭「七彩」)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kgro.com/>



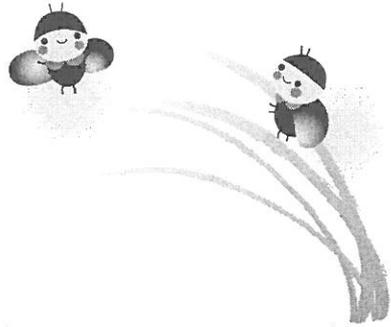
### 3. 例会プログラム

「西里(西浦川)ホタル観賞会」

★現地に各々移動してホタルを観賞しました。

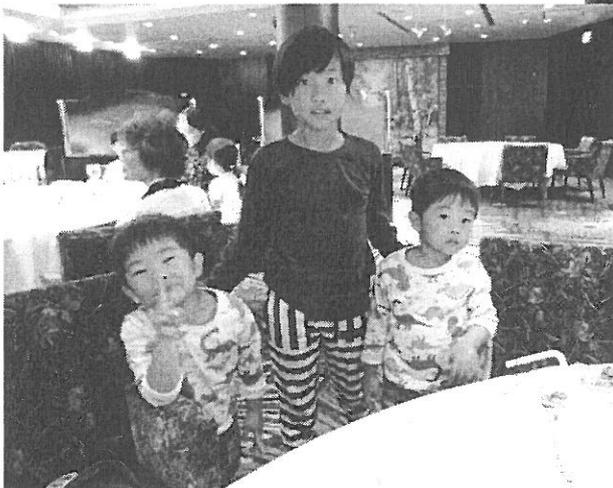


ホタル観賞会に参加の御家族と一緒に賑やかな例会

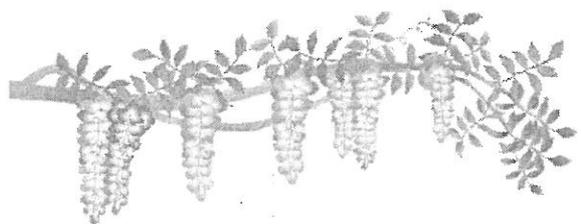


左側、田中純司会員の奥様と娘さんとお孫さんの拓海君と梨乃ちゃん

右側は大友会員の奥様とお孫さんの沙樹ちゃんと暁吾くん



上田会員のお孫さんの悠太郎くんと双子の葵くん、輝くん





## 台湾の学友、栄誉ある賞に輝く



【日経アジア賞】台湾海洋大学終身教授の廖一久さん（1965-68／田原RC）が、第24回日経アジア賞（科学技術部門）を受賞しました。同賞は、日本経済新聞社が新聞創刊120周年を記念して1996年に創設したもので、経済、科学技術、文化・社会の3部門でアジアの発展と繁栄に貢献した人々を



たたえる目的で、各部門1人または1団体を毎年表彰。今回で24回目となります。

「エビ養殖の父」として知られる廖さんは、平成26年度外国人叙勲において旭日中綬章を受章。最近のニュースとして、台湾の「廖一久院士之友會」（廖一久院士の友の会）では、博物館を設立、その建設費を募集中とのことです。今回の表彰式は、来る5月29日に東京の帝国ホテルにて行われます。

栄えある受賞、おめでとうございます！

### 廖一久さんからのメッセージ

今回、第24回日経アジア賞・科学技術部門に選ばれたことは、私が貴国に留学し、学んだ科学技術を母国台湾の水産養殖産業に貢献したこと、およびアジア各国に息長く大きな貢献を続けている点が強調されたことだと思います。留学中、米山奨学生に選ばれたことが大きな契機だと思います。2018年、ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年記念式典にて、19,808人（当時）の米山学友代表としてご挨拶させていただいたことも大事なことだと思います。私の成長段階において多くの恩師のご鞭撻、友人達および米山の皆様の励ましを忘れることは出来ません。そして今日まで私を育て、暖かく見守ってくれた両親、家族、親戚に、心から感謝いたします。



### 【経済省国家産業革新賞（台湾）】

台湾・経済省による第6回国家産業革新賞（原文：國家産業創新獎）の授賞式が4月10日に行われ、国立政治大学商学研究科の教授を務める米山学友、呉安妮さん（東京三鷹RC）が女性賞を受賞、陳建仁副総統からトロフィーが授与されました。

同賞は台湾産業界のオスカーとして知られ、産業界に甚大な貢献をした者に贈られる最高の栄誉です。呉さんは33年にわたって新管理会計システム「AVM(Activity Value Management)」の

理論研究と実践検証を重ね、台湾における新管理会計制度を開発。このAVMを導入し、呉さんがコンサルティングをした企業では収益が大幅にアップしているとのことです。呉さんは、台湾米山学友会の推薦で来日し（海外学友会推薦奨学金：SY-A奨学金）、2003年7月から翌年2月末まで一橋大学で研究活動を行う期間、米山奨学生となりました。「台湾に経済的奇跡を起こしたい。AVMでより多くの台湾企業を助け、人材を育て、国に貢献したい」と、呉さんは語っています。

## 寄付金速報 — 残り2カ月、さらなる支援を —

4月までの寄付金は前年同期と比べて2.1%減（普通寄付金：0.5%減、特別寄付金：2.9%減）約2,650万円の減少となりました。

10連休という長いGWを控えた影響もあつてか、前月よりも減少幅が広がり、また、直近5年間の同期累計平均額と比較しても、今月の累計額は約230万円下回る結果となりました。

今年度も残すところ2カ月。ロータリアンの皆様の変わらぬご支援に、厚く御礼申し上げます。なお、今年度（半期ごとの納入クラブは後期分）の普通寄付金をまだ送金していないクラブがありましたら、お早目にお送り下さいますようお願い申し上げます。